モノづくりで輝く 現場女子 in 埼玉

肌に優しい クレンジング剤を

サティス製薬（吉川市）　研究開発部
甲斐（かい）　紗緒里（さおり）さん（30歳）

化粧品のOEM会社で、化粧水や美容液など、基礎化粧品の元となる「レシピ」を開発しています。朝から夕方まで実験室にいることもあれば、原材料メーカーの方から新しい材料を紹介してもらったり、顧客の化粧品メーカーの方に要望を伺ったりもします。

高校生の頃には「化粧品の開発者になる」と決めていました。私自身肌が弱く、なかなか肌に合う化粧品が見つかりません。しかし、自分に合う化粧品を見つけたときの喜びは格別。この経験が決め手でした。大学の研究室も、就職活動でも常に「化粧品開発」を軸に動きました。

目標の職業に就けて、毎日が楽しいです。もちろん苦労もあります。例えば、透明性の高いジェル状のクレンジング剤を作ろうとするときに、少しでも分量を間違えるとクリーム状になったり、濁ったり、分離したりしてしまう。悲しくなりました。

入社6年目を迎えた昨年、グループリーダーになりました。より多くの人に弊社の化粧品を使ってほしい、というのが私たちの願いです。例えば化粧品の口コミ販売サイトで、上位を独占できるようなヒット作をたくさん生み出したいですね。個人的には、肌に優しいクレンジング剤を開発するのが目標です。

現場作業員の女性一期生 女性の意見、職場に反映

化学メーカーの工場で特殊テープの製造ラインを動かしたり、塗工膜厚の管理や品質チェックを行っています。昔から理科が好きで、特に好きなのは実験。例えば試薬に別の試薬を加えると色が変わったり、でんぷんの反応を見たりと、いろいろな実験に取り組みました。思い切り実験ができると聞き、和歌山県内の高等専門学校の物質工学科に進みました。将来は化学製品に関わりたいと思い、当社を志望しました。

埼玉工場は2011年に女性製造現場作業員の採用を始めたばかりで、私は1期生です。女性という理由での苦労はありません。16キログラムもある、重いものを運ぶ作業があり困ったときにも、会社が補助具やリフターを導入してくれました。いまは現場の女性は少ないですが、少しずつ増えています。1期生として、女性が働きやすい職場づくりのお手伝いをしたいと考えています。

仕事での課題は、機械の知識が足りないこと。例えば塗料を循環するポンプに不具合が起きたときに、すぐに対応できるようになりたいです。工場内で機械保全の講習を受けるなどしています。

休日は買い物に出かけます。あと、夜勤もあり不規則な生活なので、身体づくりのためにジムにも通っています。入社当時は持てなかった重いものも、軽々持てるようになりました。ジム通いの成果でしょうか。

DIC埼玉工場（伊奈町）　塗工加工品製造部製造三課
久道（くどう）　和納（かずな）さん（23歳）

モノづくりの瞬間に感慨 大規模設備設計が目標

岡谷電機産業
生産本部埼玉技術統括部（行田市）
サージ技術部生産技術グループ
大迫（おおさこ）　温子（あつこ）さん（24歳）

2011年4月に入社し、生産技術グループに配属されました。勤務している埼玉事業所は、雷による異常電圧から通信機器などを守るサージ関連製品が主力です。そして、こうした製品を作る設備の設計、製作、管理が私たちの役目です。

ガラス封止体にガスを充填（じゅうてん）する設備やリード線を切断して曲げる装置など、手がけるものはさまざまです。図面を描いたり設備を組み立てたりする仕事が中心ですが、時には必要な部品をフライス盤で自ら加工することもあります。

自分で設計して部品を集めた後、機械が形になっていく瞬間が好きです。3次元CADで上であらかじめ形状は分かっていますが、実際のモノになる時の感慨は、ひと味違います。

昔から、身の回りの製品を分解して中身を観察するなど、機械に触れるのが好きでした。ものつくり大学に入ったのも、製造を学びたかったからです。当社に対しては、設計や加工などの仕事ができると先生から聞き、興味を持ちました。

目標は、より大がかりな設備の設計に携わることです。このため、プログラミングなどの知識をもっと身に付けたいと思います。

高校時代は演劇部に入っていました。最近は、休日に当時の仲間と会って、また練習したりしています。いつか発表できたらうれしいです。

スリッターマシンの高精度を支える部品を加工

垣堺精機（小鹿野町）
製造部二課
常木（つねぎ）　奈穂（なほ）さん（25歳）

垣堺精機常木奈穂さんは地元（埼玉県小鹿野町）出身の25歳。今年で入社3年目を迎えた。大学では法学を専攻していたが「かねてより機械にとても興味があった」（常木さん）こともあり、同社の門を叩き、入社がかなった。

同社は、薄い金属板ロールを必要な幅に切り分けて再巻き取りを行う自動機「スリッターマシン」の製造会社。ニッチ分野ともいえるが、その高精度加工能力において、世界でも名を知られたトップ企業だ。常木さんが現在手がけるのは、機械の切断工程を支えるライナーという円筒部品の左右側面研磨。入社後半年ほどで同加工をまかされた。円筒の高さを決めるためにおこなう作業で、求められるのはスブミリ（1マイクロメートル）という厳しい寸法精度だ。

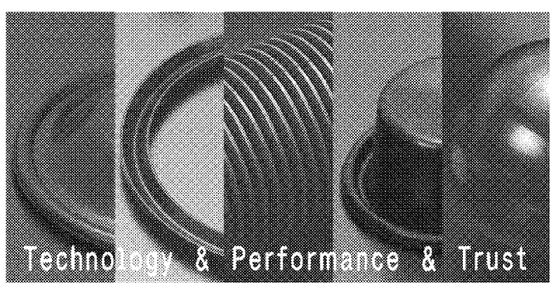
垣堺社長は同部品の重要性について「ライナーはスペーサーともいい、スリッター刃の切断間隔を決める重要部品。分割数が増えるほど、各ライナーの寸法誤差が蓄積されるため、全体の寸法誤差を調整する微妙なすりあわせが求められる」と説明する。

「入社当時は道具や機械の名もさっぱりわからなかったが、今は毎日がとても充実しています」と話す常木さん。「今後は切削や、キサゲ加工、機械の組み立てまで身につけられたら」と目を輝かせる。

REDS×POLUS
浦和レッズを愛し、みなさまと応援していきます。
―2013 SEASON―

©T.YAMAZOE
どんなヒーローにも生まれ育った街がある。
こころを通わす場所がある。
あなたをそっとささえる。そんなマイホームをこの街で。
My Home　My Town
住まい価値創造企業
POLUS
ポラスグループ

株式会社 幸大ハイテック
本社　〒105-0004 東京都港区新橋4-21-3　羽生工場　〒348-0016 埼玉県羽生市大沼2-45
TEL (03) 6895-7511　FAX (03) 6895-7301　TEL (048) 565-1511　FAX (048) 565-1515
URL：http://www.kodai-ht.co.jp
メカトロニクス（FA、食品、医療）
医療機器（遠隔制御／監視）
大電流基板実装
ロボット制御（センサー、画像処理）
音声認識で実現した デジタル生産方式

工業用ゴム製品の総合メーカー


●布入りVパッキン
●布入りゴム製品
●ダイヤフラム
●各種オイルシール
●フリーサイズダストシール
●耐圧用パッキン
●バルブ用ゴムボール
●各種水道用ゴム製品
●導電性ゴム製品
●絶縁性ゴム製品
●難燃性ゴム製品
●その他特殊配合ゴム成型品 樹脂成型品の設計製品
高機能材料から汎用材料まで お客様のニーズに お応えします。
―業務内容―
工業用製品の委託研究・開発業務
新製品開発プロジェクトのマネージメント
ソフトウエアの開発及び販売
各種ゴム及び樹脂製品の設計及び製作
各種金属加工品・各種金属の設計及び製作
金属・基布・PTFEとの複合化を実現する 高機能ゴム製品
株式会社 丸一ゴム製作所
ISO9001:2008
本社　埼玉県吉川市三輪野江1009-1　☎048(982)0483　FAX048(982)0498
工場　宮城県伊具郡丸森町舘矢間木沼字入谷地68　☎0224(72)1753　FAX0224(72)6849
http://www.maruichirubber.co.jp
N.I.T.
株式会社 マルニット
営業事務所　埼玉県吉川市大字三輪野江1009-1
TEL048(983)3310　FAX048(982)0498
NITマルニット　埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
共同研究センター 日本工業大学内
㈱丸一ゴム製作所・日本工業大学 産学交流 コーディネイト・マッチング